

平成 30 年度市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」ご意見と回答

質問 1 公民館の利用について	10月18日(木) 友愛館
公民館で市の事業を継続して行う場合、自主活動講座の利用と重ならないよう考慮してもらえないですか。	
回答	
事前に年間を通して協議を行ったうえで使用の有無を決定しておりますが、状況によってはご協力をお願いしなければならない場合もありますので、その際はご協力をお願いします。 今後はより一層、自主活動にご迷惑をおかけしないよう調整を図ってまいります。	

質問 2 水道水の水源について	10月18日(木) 友愛館
2030年までに川の水を35%水道水として使用するという県南広域水道整備事業について、下野市では現在まで地下水100%でずっとやってきました。川の水を導入する理由や、ダムなどの設備をつくるのに80数億円かかると言われており、水道料金が40~60%くらい値上がりするのではないかということ、市民に対してちゃんと説明すべきだと思います。	
回答	
貴重なご意見としてお受けさせていただきます。	

質問 3 国分寺運動公園の屋外トイレについて	10月18日(木) 友愛館
国分寺運動公園のトイレが最近非常に汚くなりました。シルバー人材センターの担当者がやめてしまい、見つかるまで職員の方が対応されていると聞きました。他の業者への業務委託はできないのでしょうか。	
回答	
シルバー人材センターにおいて後任者を探しておりますが、職員による清掃の回数を増やして清潔なトイレとなるように努力いたします。業務委託につきましても今後検討してまいります。	

質問 4 水道水の水源について	10月18日(木) 友愛館
「ともに築き 未来へつなぐ 幸せ実感都市」という目標に取り組んでいると言われましたが、下野市では水道水を売っており、現状の水のほうが我々は幸せです。高くてまずい危険な水にかえるというのは市民のためにならないと思います。	
回答	
貴重なご意見としてお受けさせていただきます。	

質問 5 公金詐取における損害額回収について	10月19日(金) 薬師寺コミュニティセンター
<p>市職員の公金詐取事件に関して、市長は市議会の全員協議会への報告だけで、市民への説明がなかった。どんな不祥事があったのか、事件後組織の指導をどうしたのか、コンプライアンス委員会の状況などお聞きしたい。</p> <p>また、損害金はいくらだったのか、現在までに損害額の回収額がいくらなのか、弁済見通しをどのように立てられているのかについてもお伺いしたい。</p>	
回答	
<p>弁護士などの外部有識者からなる第三者委員会を設置し、再発防止等コンプライアンス意識の確立に取り組んでおります。被害総額は裁判で結審され 37,157,619 円です。また、回収額につきましては、先に民事裁判にて確定している金額が 1,945,668 円で、内金として 1,100,000 円を回収しております。返済は、弁護士と連携しながら全額回収に向け進めております。</p>	
再質問	
<p>先ほどの 3,715 万円は、刑事裁判上で本人が詐欺横領を認めた金額です。お聞きしたいのは、新聞にも掲載されていた、超過勤務手当の水増しをしてだまし取っていた 400 万円超の分は返済してもらわないのかということです。</p> <p>それから、下野市で公金にからむ事件は今回で三回目です。過去の農業公社の公金横領は 250 万円くらいだったと思うが 29 年度末で 93 万円残っていたと思います。その後回収されたのか。厳格な回収の方針をたててやっているのか、返済にあたり法定利息は課しているのか伺いたい。</p>	
回答	
<p>時間外手当の件については、関係書類が押収されたままで、まだ額を確定させる状況が整っていません。また、公社に関する返済は、親族の協力により回収していますが、法定利息はとっていません。詳細につきましては、現在資料を持ち合わせておりませんので、ご了承ください。</p>	
質問 6 水道水の水源について	10月19日(金) 薬師寺コミュニティセンター
<p>2 年前に水の問題が出てきました。今飲んでいる水は 100%地下水でミネラルが豊富でこんなに有り難い水はありません。地下水に川の水を混ぜてしまうと味も中身も下がります。どうか自然のままのおいしい水を続けさせてください。水道代が値上がりすると本当に大変です。</p>	
回答	
<p>貴重なご意見としてお受けさせていただきます。</p>	

<b>質問 7 空き家バンクについて</b>	10月19日(金) 薬師寺コミュニティセンター
空き家バンクに力を入れていただけるということですが、市内の空き家は全て把握していますか。	
<b>回答</b>	
<p>市内にある空き家については、3年ほど前に自治会長に協力いただき、全ての空き家を調査し、その後は随時追加しております。</p> <p>空き家バンクは、居住が可能なものを対象として、所有者と利用希望者に登録していただき、市が仲介役をさせていただく制度です。現在は、ホームページを開設したところであり、登録は1件のみで、数件の調査を行っている状況です。</p>	

<b>質問 8 学校運営協議会について</b>	10月19日(金) 薬師寺コミュニティセンター
学校運営協議会は出来たのでしょうか。	
<b>回答</b>	
<p>学校運営協議会は、本年度から市内全小中学校に設置しており、協議会のメンバーや会議の内容は学校だよりなどで保護者を通してお知らせしているほか各学校のホームページにおいてもお知らせしています。また、国分寺東小学校と石橋小学校では独自に協議会だよりを作成し、自治会を通して配布しています。</p>	

<b>質問 9 水道水の水源について</b>	10月19日(金) 薬師寺コミュニティセンター
<p>地下水 100%の水道水の維持を求める要望ということで 8,000 人以上の署名が集まり市長に提出しました。これだけ多くの署名を提出しても、市議会的一般質問における市長の答弁では、ダムの水を導入するという方針は変わらないように聞こえました。市の考え方を今一度お答えください。</p>	
<b>回答</b>	
<p>県が実施する水道事業で、県から具体的な説明がまだないという現状では今までと同じ答えになることをご理解いただきたい。私は水道の管理者として、想定外も想定しなければならず、1系統では絶対の信頼がもてませんので、2系統・3系統と様々な方法で万全を期していきたいと考えております。地下水も川上から川下へ流れていくものですので、広域的な連携のもと様々な対策をとる必要があると思っています。</p> <p>また、人体に悪影響を及ぼす硝酸態窒素や亜硝酸態窒素が、毎年のように市内の様々な地域から検出されています。発生した地域においては使用を控えていただくようお願いしているのが現状であり、様々なリスク管理をし、安全性を高めていきたいと考えています。</p>	

<b>質問 10 文化会館の建設について</b>	10月19日(金) 薬師寺コミュニティセンター
5～6年前に市内に文化会館とか文化ホールをつくっていただけないのかとお聞きしたところ、お金の問題ですぐには難しいとお答えいただきました。文化会館の建設について現状での考え方を聞かせください。	
回答	
維持管理の費用が問題で、隣接する自治体と相互に既存施設の利用を考えていかなければ、将来において財政面で行き詰まると言われています。本市においても、国の補助金活用や健全な財政状況を維持しながら、最適な規模や運営するための方法を検討しているところです。	

<b>質問 11 下野薬師寺について</b>	10月19日(金) 薬師寺コミュニティセンター
下野薬師寺について、理解を深めていただくためのお願いと提案をさせていただきます。 下野薬師寺は日本で最初にできたお寺である飛鳥寺に劣らない規模のお寺で、私は関西出身ですが、ここに薬師寺があったということは驚きでした。これは、下毛野朝臣古麻呂という人物の存在が大きく、これから歴史が解明されて、全国へ発信してお客さんがどんどん来られると思っていました。しかし、合併して市となり10数年が経ちますが、あまり変わってないと思います。東の飛鳥プロジェクトという説明がありましたが、このプロジェクトを先導していくのは薬師寺だと思います。遅すぎるということはないので、地域ブランドとして県と一緒に盛り上げていただきたい。	
回答	
貴重なご意見としてお受けさせていただきます。	

<b>質問 12 水道水の水源について</b>	10月19日(金) 薬師寺コミュニティセンター
水の問題について、このダム計画にのったら権利を確保するだけで、文化会館の建設費を賄えるくらいのお金がかかる。市長の話には科学的な裏付けがなく、専門家の意見を聞くなど科学的な根拠を調べ、お金を節約していただきたい。	
回答	
貴重なご意見としてお受けさせていただきます。	

<b>質問 13 小金井一里塚の管理について</b>	10月20日(土) きらら館
小金井一里塚の木から、毎年落ち葉がトラック三杯分くらい落ち、また、樹木が倒れた時は近隣の民家に被害が及ぶと思います。一里塚の管理計画はどのようになっているのでしょうか。	
回答	
現場を確認させていただいて対応方法について検討させていただきます。	
その後、落葉の季節は定期的に清掃をおこない、樹木の剪定については、平成31年度予算で実施の予定です。	

<b>質問 14 人口を増やす方策について</b>	10月20日(土) きらら館
<p>近隣の壬生町や上三川町では、ニュータウンが造成され、転入した人に固定資産税の優遇措置をとる自治体があるなど、人口を増やすための様々な方策がとられています。下野市ではニュータウンの開発など人口を増やすためにどのような方策をとっていますか。</p>	
回答	
<p>立地適正化政策として JR3 駅を起点とした人口集積に取り組んでいます。また、都市計画マスタープランの見直しをしながら、仁良川地区の区画整理や工業団地の造成による人口増加など色々な方法を考えています。</p>	

<b>質問 15 人口を増やす方策について</b>	10月20日(土) きらら館
<p>石橋町の石町や寿町、旭町、栄町周辺も人口が減少しています。スマート IC ができるのであればその周辺の道路を整備して市街化を進めていけば、人口が増加すると思いますが、どのように考えていますか。</p>	
回答	
<p>今一番心配しているのは駅周辺で高齢化や空洞化が進んでいることです。そのため立地適正化計画では駅を起点として人を集約し、継続して生活基盤を維持することを検討しています。</p> <p>また、市民の皆さまに住み続けていただけるようリフォーム費用などの補助をおこなっています。無計画に家が建つと虫食い状態となるため、最も有効な都市基盤やインフラを整備し居住地域を決めていきたいと考えています。</p>	

<b>質問 16 水道水の水源について</b>	10月20日(土) きらら館
<p>水道水に関しては、国や県、コンサルが言っていることを鵜呑みにしないでほしい。本当に水がくるのか、どのくらいのお金を負担するのかなどを検討してから決定してください。</p>	
回答	
<p>現在の状況を市民の皆さまに知っていただき、リスク管理として地下水と表流水の2系統を持ちたいと考えています。本市の水道水は県内でも非常に安い料金としております。ダムの水を利用した場合、料金や負担がどの程度になるかは栃木県から提示がないため、今はお話しできませんが、リスク管理として権利だけは主張したいと考えています。どれだけの費用がかかりどのような状況になるのかにつきましては、これから県や関係市町と協議をしていきます。</p> <p>なお、電気、ガス、水道のライフラインの中で行政が管理しているのは水だけです。水道に対して想定外を想定して話をしているのは、市民生活を支える重大な責任があると考えているからです。ご理解いただきたいと思います。</p>	

<b>質問 17 水道水の水源について</b>	10月20日（土）きらら館
<p>ダムを造ると水が溜まり、そのままではカビ臭くて飲めないため、活性炭吸着処理施設を造る必要があり非常に費用がかかります。</p> <p>また、思川と大芦川から取水することになるとと思いますが、農業地帯を流れてくると農薬は浄水場では処理しきれません。そのような危険な水を市民に供給するという新たなリスクを負うことになると思います。これらの点を栃木県にお話しいただきたい。</p>	
<b>回答</b>	
<p>このようなご意見があるということを協議会の中で発言させていただきたいと考えております。</p>	

<b>質問 18 災害対策について</b>	10月20日（土）きらら館
<p>何年か前に市の境界付近で火災が発生し、残念なことに防火水槽に水が溜まっておらず消火活動が遅れたということがありました。その後の点検等の状況をお聞きしたい。</p>	
<b>回答</b>	
<p>防火水槽は、市内に 241 か所あり、消防署において定期的に点検しておりますが、ご指摘の場所につきましては、早急に再確認させていただきます。</p> <p>その後確認した結果、常時使用出来るよう整備されております。</p>	

<b>質問 19 文化会館の建設について</b>	10月20日（土）きらら館
<p>小中学校の音楽祭が毎年開催されていますが、市内に開催場所がないことが問題となっております。文化センター、文化会館、名称はどうあれ、現在計画はどのようになっているのかお聞きしたい。</p>	
<b>回答</b>	
<p>文化活動をしている市民の方々から文化会館建設のご要望をいただきましたが、希望の文化会館は 70 億、80 億の建設費が必要で、また、維持経費が課題となります。建設費用に関しては色々な方策を検討していますが、民間を活用すると、皆さんが利用したい土日の利用に制限がついてしまうなど、様々な問題があります。将来の負担が大きくなるよう維持できるものを造らなければならないと考えていますので、ご理解いただきたいと思っております。</p>	

<b>質問 20 災害避難者の受け入れについて</b>	10月20日（土）きらら館
<p>原発事故で福島から避難をしてきた人の集まりである「あじさい会」からお願いがあります。</p> <p>もし茨城県の前で事故があり避難が必要な場合、下野市では避難者を受け入れると聞いていますが、避難者の受け入れにあたって、事前に受け入れ計画を作成していただきたい。そして計画の作成の際には、ぜひ私たち避難者の意見を聞いていただき実行性あるものにしていただきたいと思っております。</p>	
<b>回答</b>	
<p>備品等の整備を含め、今後の計画の中で検討させていただきます。</p>	

<b>質問 21 公営住宅について</b>	10月20日（土）きらら館
<p>若者に住み続けてもらい、人口を増やすための市営住宅の建設や県営住宅を誘致するなど公営住宅の整備方針についてお聞きしたい。</p>	
<b>回答</b>	
<p>市営住宅は国分寺地区で4戸、県営住宅はグリーンタウン内に整備されています。現時点では新たな公営住宅の整備計画はありませんので状況分析し検討してまいります。市は、定住に向けた政策として、空き家バンクのほか、東京圏（東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県）から転入し、住宅を新築された方への補助や市の保留地を購入された方への補助制度などにより定住促進を図っております。</p>	

<b>質問 22 平地林の伐採について</b>	10月20日（土）きらら館
<p>市内の貴重な平地林が少なくなっていますが、大松山運動公園の改修で林が伐採されてしまいました。石橋図書館の周辺あたりも残してほしかった。森林は地下水涵養の機能が低い。</p>	
<b>回答</b>	
<p>今後の公共施設整備の参考とさせていただきます。</p>	

<b>質問 23 自治医大病院の利用について</b>	10月20日（土）きらら館
<p>以前は自治医科大学附属病院に自由に入出りでき診療を受けることができた、今はまずは近くのまち医者にかかるよう指導されます。昔のように、病院を開放していただけないか。</p>	
<b>回答</b>	
<p>自治医科大学附属病院は、三次医療機関として、高度医療を提供する使命を果たしています。本市では、石橋総合病院や小金井中央病院などが二次医療機関として役割を分担しています。病院ごとに役割分担がありますので、軽い病気やけがなどでの自治医科大学附属病院への突発的な利用はご遠慮いただき、最寄りの病院をご利用いただくようお願いします。また、夜間休日診療については、本市への設置を希望しておりますが、小山地区において広域で行っているため、医師会などと協議しながら設置について検討してまいります。</p>	

# 平成30年度市政懇談会

市長のいきいきタウントーク

ともに築き 未来へつなぐ 幸せ実感都市

～人・自然・文化が織りなす 知恵と協働でつくる下野市～

## 1 市政運営の取組状況について

**“住みよさ県内ナンバー1 下野”**

の実現を目指して



夢をかたちに更なる発展へのステップアップ！

## 6つの柱による施策展開



2

## 「協働のまちづくり」

➤すべての市民の笑顔のために「協働のまちづくり」を推進します。



- 女性の活躍を支援し、男女共同参画社会を推進
  - ☞ 男女共同参画社会の推進について
- 豊かな下野の緑環境を保全する環境保全活動の推進
  - ☞ 環境基本計画の推進について

3

## 男女共同参画の推進 ①

女性の活躍を支援し、男女共同参画社会を推進するため、第二次男女共同参画プラン（H28～32年度）計画の進捗管理しています。

- 下野市だれもが輝く男女共同参画社会づくり条例の施行（H28年4月）
- 男女共同参画都市宣言（H28年12月）
- 女性活躍推進セミナーの開催（H29年10月）
- しもつけイクボス合同宣言（H29年11月）



イクボス合同宣言（天平の芋煮会会場）



女性活躍推進セミナー（市役所）

## 男女共同参画の推進 ②

女性活躍推進の基礎づくり

セミナーの開催

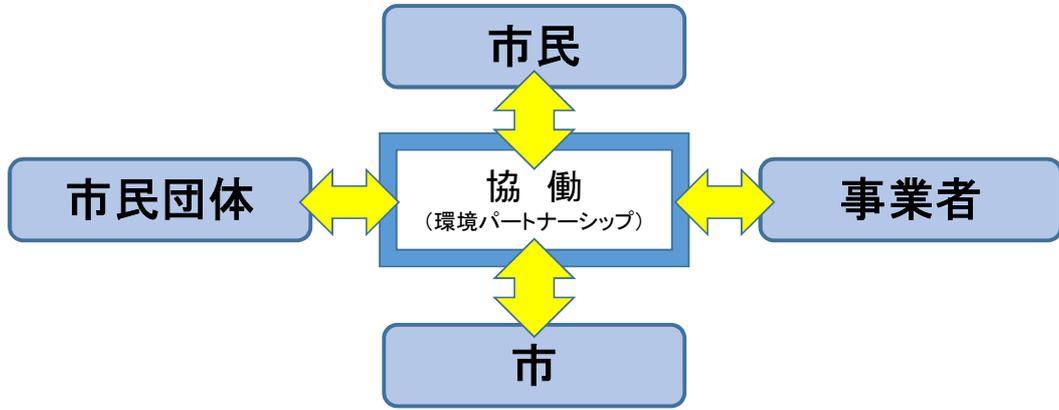
テーマ **家族みんなで  
楽しめる家事**

日時 **11月2日 金曜日  
午後1時30分～**

場所 **市役所 3階会議室**

# 下野市環境基本計画について

## 【計画期間 平成25年度～平成34年度】



目指す環境像の実現と基本目標の達成のため、各主体が自らの役割を理解し、環境保全及び創造に向けて取組を進めます。

# 環境状況報告書【しもつけの環境】を作成し、取組の実施状況や環境についての調査・測定結果を毎年発信



しもつけの環境

しもつけの環境概要版リーフレット

# 「医療・福祉政策」

➤幸せを実感できる生活のための「医療・福祉政策」を推進します。



○総合的な子育て環境の充実

☞ こども医療費助成制度の受給対象年齢の拡大について

8

## こども医療費助成制度の 受給対象年齢の拡大について



### ●これまでの取組

- 平成21年4月 助成対象年齢を小学校3年生から中学校3年生へ拡大し、自己負担（500円）を市が負担
- 平成26年7月 現物給付の対象年齢を3歳未満児から未就学児へ拡大
- 平成27年7月 現物給付の対象年齢を中学校3年生へ拡大
- 平成28年4月 受領委任払い（柔道整復関係等）の対象年齢を中学校3年生まで拡大

9

# 平成31年4月から 18歳まで拡大します！



こども医療費助成制度の受給対象年齢を、学生・社会人を問わず18歳に到達した年度の3月末までの方を対象として、現物給付方式で実施します。



10

## 「教育・スポーツ・文化のまちづくり」

➤心と身体が、いつまでも元気であるために「教育・スポーツ・文化のまちづくり」を進めます。



- 東の飛鳥プロジェクトの推進と文化財展示収蔵施設の充実
  - ☞ [東の飛鳥プロジェクト推進事業](#)
- 市民総スポーツ・ひとりスポーツ・生涯スポーツの推進
  - ☞ [大松山運動公園の開園について](#)

11

## ●整備概要

大松山運動公園拡張整備平面図

～水と緑のふれあいスポーツパーク～

陸上競技場  
兼サッカー  
場

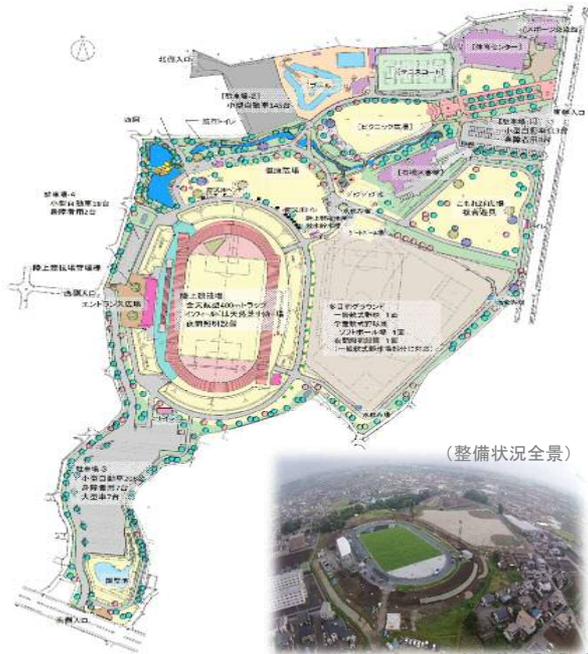
- ・日本陸上競技連盟第4種公認
- ・全天候型舗装400mトラック8レーン
- ・インフィールド天然芝サッカー場(改良高麗)
- ・夜間LED照明設備(4基)
- ・管理棟(2階観覧用348席)

多目的  
グラウンド

- ・一般軟式野球場1面
- ・学童野球兼ソフトボール場2面
- ・サッカー場、陸上300mトラック
- ・ゲートボール場1面
- ・夜間LED照明設備(4基)

その他施設

- ・園路(ジョギングコース)
- ・健康広場(防災ベンチ、防災トイレ、貯水槽)
- ・ジャブジャブ池(親水広場)
- ・こもれび広場(複合遊具、健康遊具)
- ・トイレ 4ヶ所
- ・駐車場 小型482台、身障者用12台、大型7台



12

## ●今後の取組

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事 陸上競技場・管理棟整備 駐車場・園路整備 ジャブジャブ池整備 トイレ建築 貯水槽設置 遊具設置 植栽</li> <li>・競技用備品購入</li> <li>・陸上競技場公認検定(12月)</li> </ul>	開園(5月)	東京オリンピック キャンプ地誘致 (陸上競技場)	栃木国体プレリハースル ・サッカー (陸上競技場) ・ハンドボール (石橋体育センター)	栃木国体 ・少年サッカー (陸上競技場) ・ハンドボール (石橋体育センター)

陸上競技場兼サッカー場(12月末完成予定)



陸上競技場管理棟(10月末完成予定)



多目的グラウンド(完成)



13

## 東の飛鳥プロジェクト推進事業

### ●これまでの取組

#### 下野市の特性

- 古墳から飛鳥・奈良時代の東国を代表する史跡等の文化財が多数所在
- 古代飛鳥地方（奈良県）に匹敵するほどの価値！



- 歴史文化遺産を活用したまちづくり

### 「東の飛鳥プロジェクト」



H28年度導入  
下野薬師寺ガイドアプリ  
「VR東の飛鳥」甦る下野薬師寺



H29年度導入  
しもつけ古墳群ガイドアプリ  
「ストリートミュージアム」

14

### ●平成30年度の取組「東の飛鳥」の商標化

地域ブランドとして全国に発信するため、商標登録を実施。



「東の飛鳥」ロゴマーク  
(商標登録申請中)

15

## ●今後の取組

◎平成31年春

- ①東の飛鳥のパンフレットの刊行
- ②『新・下野市風土記』の刊行
- ③「東の飛鳥」ブランド制定記念イベントの実施

「歴史のまち」としてのイメージづくり進め、当市の文化遺産を観光資源として総合的に活用するため、今後も様々な取り組みを実施していきます。

《今後の予定》

- ・文化財関連グッズ等の制作販売
- ・講演会等のイベントの実施
- ・日光街道ガイドアプリ公開（平成31年春公開）
- ・しもつけ風土記の丘資料館リニューアル  
（平成33年春公開）



日光街道ガイドアプリ  
（小金井宿復元CG）

16

## 「地域経済の発展」

➤実感できる地域活力を育てるため「地域経済の発展」を図ります。



- （仮称）下野スマートインターチェンジの整備
  - ☞ （仮称）下野スマートIC整備事業について
- 人や企業から選ばれる産業環境の向上
  - ☞ 産業団地整備推進事業について
- 下野ブランドを活用したシティ・セールスの推進
  - ☞ 古民家カフェ「夜明け前」の現況報告について

17

# (仮称)下野スマートIC整備事業について

## これまでの取組

- 平成27年度～ スマートIC設置協議
- 平成29年7月 準備段階調査箇所を選定
- 平成29年8月 スマートIC建設準備室 設置
- 平成29年11月 第1回地元説明会 開催
- 平成30年7月 地区協議会 開催
- 平成30年8月 北関東自動車道路との連結許可  
(仮称)下野スマートIC新規事業化

### ●スマートICとは・・・

高速道路の本線上またはサービスエリア等に設置されるETC専用のインターチェンジで、通常のものとは比べて、建設費や管理費が安価で済むなどの利点があります。

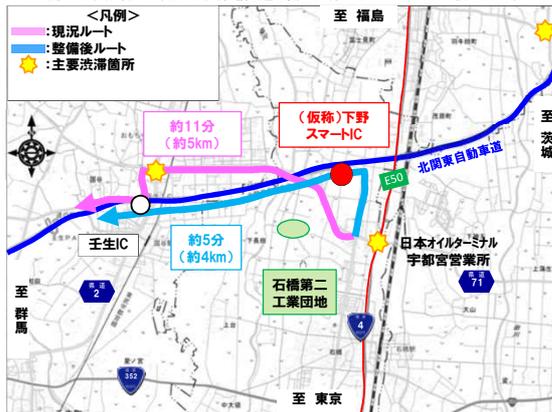
(仮称)下野スマートIC概略図



## 整備効果

### 《高速道路利用環境の向上・物流効率化》

- 周辺の利用者が一般道の渋滞を回避し高速道路へのアクセスが可能となる。



### 《災害時の救援活動や緊急物資輸送の迅速化》

- 河川浸水想定区域を避けて高速道路を利用した通行が可能となる。



### 今後の流れ

- 平成30年11月 第2回 地元説明会開催予定
- 平成31年度以降 用地買収・物件補償・インターチェンジ整備工事



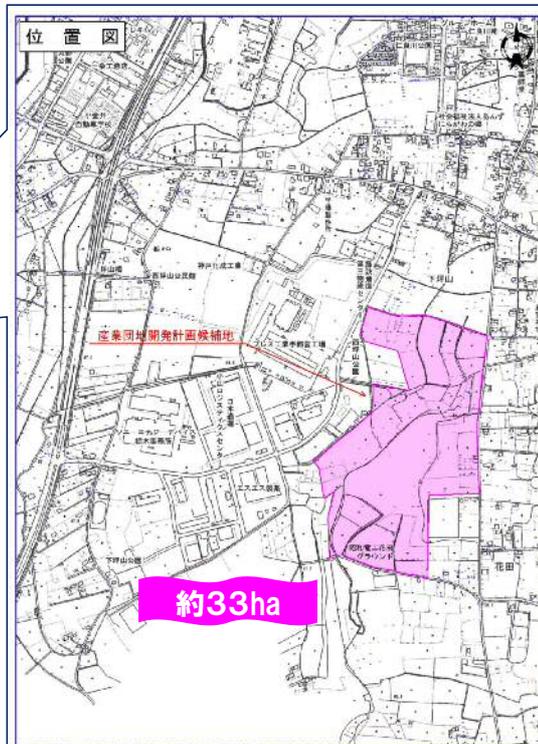
## 産業団地整備推進事業について

### 【これまでの経緯】

- ◆平成27年度 工場適地調査  
⇒仁良川、台坪山、石橋北部、上台、柴、西坪山
- ◆平成28年度 地権者意向調査  
⇒仁良川・西坪山の2地区を対象に実施  
⇒西坪山工業団地東地区を候補地として選定
- ◆平成29～30年度 栃木県関係機関協議  
⇒開発エリアを特定（約33ha）

20

### 【概要】



### <主なスケジュール>

- ◆平成29～30年度 自然環境現況調査
- ◆平成31年度～ 文化財調査着手
- ◆平成32年度 用途区域変更、開発申請
- ◆平成33年度～ 用地買収
- ◆平成33～35年度 造成工事
- ◆平成35年度～ 分譲開始

21

## ●夜明け前再生整備事業



◆事業年度 平成28～29年度

淡墨桜・八重桜の名所と知られる天平の丘公園内に移築され、「民俗資料館夜明け前」として利用されてきた旧農家住宅を、「地方創生拠点整備交付金」を活用し、桜で賑わう春以外にも多くの方に公園を訪れていただくために、古民家カフェとして、新たなコミュニティの場として利用されるよう整備しました。



22

## ●整備内容

### 【天平の丘公園 夜明け前 本体】

夜明け前は、飲食のできる休憩所や、市民の展示や演奏会等にも活用できるコミュニティーフリースペースとして再生整備し、観光客及び市民の憩いの場としました。



### ⇒【天平の丘公園 夜明け前 展示室】

夜明け前に附属する展示室を改修し、テイクアウトメニュー中心の厨房兼売店として整備しました。



23

## ●施設概要

- ◆名 称 古民家カフェ「夜明け前」
- ◆売店(名称) 10 picnic tables (テン ピクニック テーブルス)
- ◆所 在 地 下野市国分寺820番地1
- ◆施設管理 一般社団法人 シモツケクリエイティブ
- ◆営業時間及び休業日
  - ・営業時間 午前11時～午後5時まで  
※季節、イベント時は変更あり
  - ・定休日 毎週木曜日、年末年始(12月30日～1月3日)
- ◆実施イベント
  - ・ビアガーデン ・ヨガサークル ・子どもフリマ・親子フリーマーケット
  - ・音楽イベント(ジャズ演奏会) など



～皆様のお越しをお待ちしております～



24

## 「安全で安心なまちづくり」

➤持続的な発展のための「安全で安心なまちづくり」を推進します。



- JR3駅周辺等のバリアフリー化の推進、東京圏からの移住定住促進
  - ☞ 立地適正化計画の策定について
- 空き家バンクによる空き家の解消と利活用の促進
  - ☞ 空き家バンクの設立について
- 市民と企業が主役のコミュニティFMの開局
  - ☞ コミュニティFMの整備について
- 交通弱者や市民ニーズを踏まえた新たなデマンド交通の確立
  - ☞ デマンドバス「おでかけ号」の運行について

25

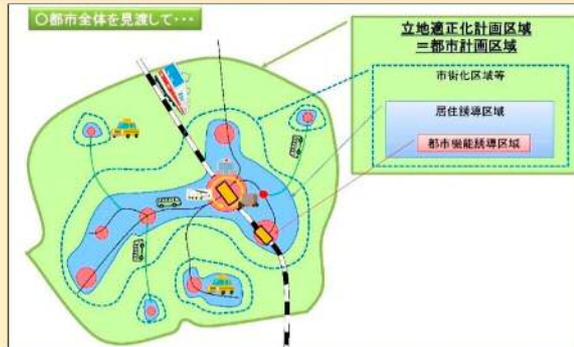
# 立地適正化計画の概要

H26.8.1 都市再生特別措置法改正により創設

## 立地適正化計画

- ・市町村が都市全体の観点から居住機能や都市機能の立地、公共交通の充実に関する包括的なマスタープランを作成
- ・民間の都市機能への投資や居住を効果的に誘導するため土依づくり（多極ネットワーク型コンパクトシティ）

- ☆概ね20年後の都市の姿を展望
- ☆居住誘導区域と都市機能誘導区域の双方を定める
- ☆居住誘導区域の中に都市機能誘導区域を定める



## 居住誘導区域

一定エリアにおいて人口密度を維持し、生活サービスやコミュニティが持続的に確保されるよう誘導すべき区域



## 都市機能誘導区域

医療・福祉・商業等の都市機能を都市の中心拠点や生活拠点に誘導、集約し、各種サービスの効率的な提供を図る区域



## 誘導施設

都市機能誘導区域ごとに、立地を誘導すべき都市機能増進施設を定める。具体的には、病院・診療所、デイサービスセンター、幼稚園、小学校、図書館、博物館、スーパーマーケットなど。誘導施設がない場合には、都市機能誘導区域は設定できない。

## 市全体での誘導区域設定の考え方

### コンパクト化を図る誘導区域設定の基本的な考え方

- ・都市機能および居住誘導区域は、地域の中心となっている自治医大駅、石橋駅、小金井駅周辺で設定します。
- ・居住誘導区域は都市機能誘導区域を含むように3駅周辺に設定します。
- ・仁良川地区は法定外の居住誘導区域に指定して引き続き良好な居住環境を形成します。

### 石橋駅周辺

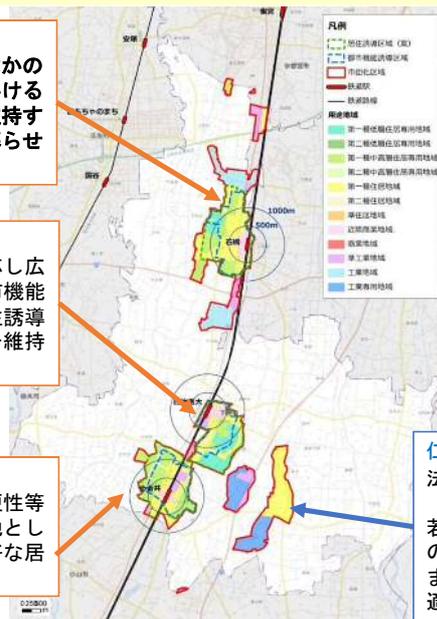
跡地活用等によりまちなかの賑わい低下に歯止めをかけるとともに、人口密度を維持することで安全で快適に暮らせる環境を形成する

### 自治医大駅周辺

急激に進む高齢化に対応し広域拠点として多様な都市機能を集積させ、同時に居住誘導を図ることで人口密度を維持する

### 小金井駅周辺

首都圏へのアクセス利便性等を活かし、旧町の中心地として賑わいを形成し、良好な居住環境を形成する



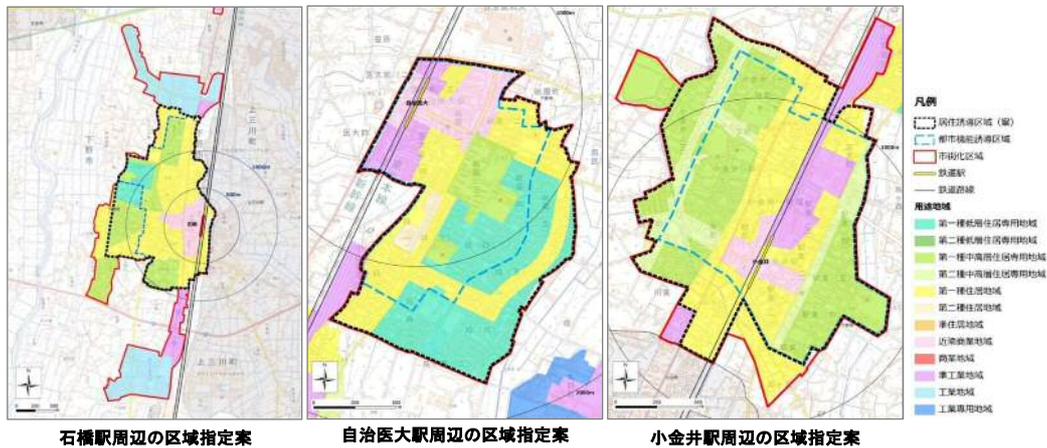
### 仁良川地区

法定の居住誘導区域にはせず（仮称）郊外型居住区域として若年層をはじめとした人口流入の受け皿とする。またそのために誘導施策を立地適正化計画で検討する。

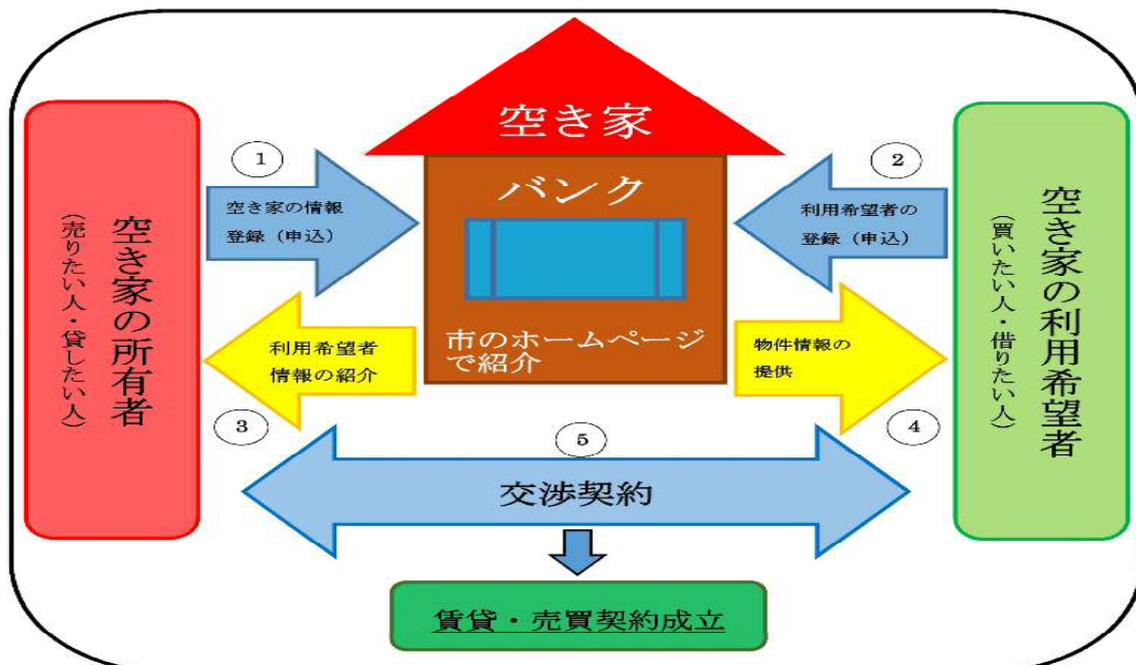
### 3 駅周辺における誘導区域設定の考え方

#### 各駅の誘導区域設定の目安

- 石橋駅周辺では、工業系用途を除き、おおよそ駅から1km~1.5km程度の範囲で区域設定をします。
- 自治医大駅周辺は、他の2駅に比べ人口集積・密度ともが高いため、市街化区域と同範囲で区域設定をします。
- 小金井駅周辺は、小金井3丁目の運動公園や準工業地域である操車場などを除いて設定します。駅から概ね1kmの範囲内を指定します。



### ●空き家バンク 登録から契約までのフローチャート



●空き家バンク リフォーム補助・家財処分補助

◎リフォーム補助

- 対象
  1. 空き家バンクに登録された物件
  2. リフォーム工事に要した経費が20万円以上
- 補助
 

対象工事費の2分の1を補助（上限50万円）



◎家財処分補助

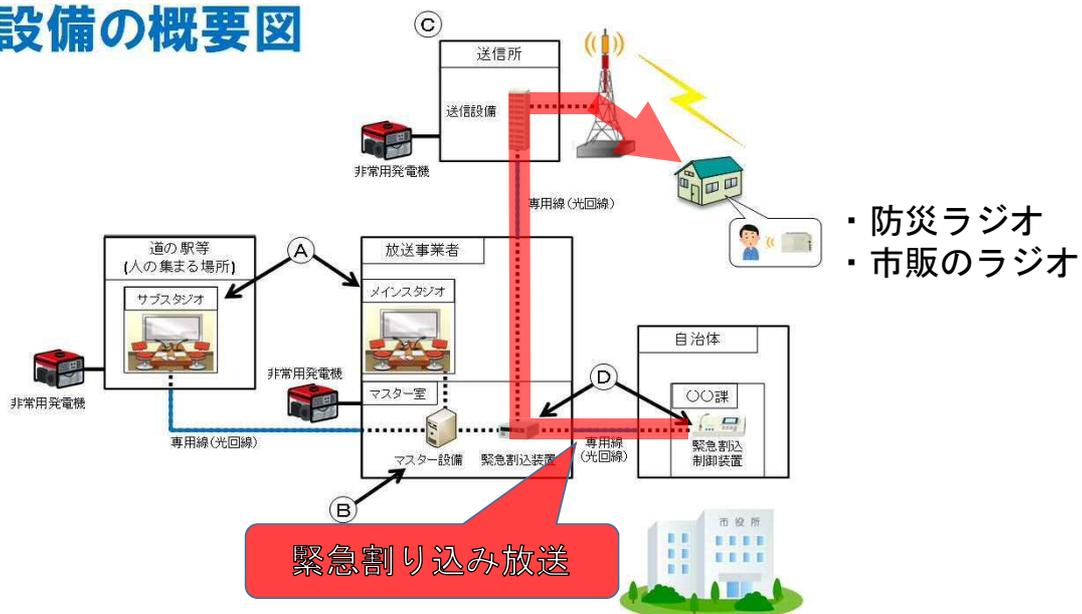
- 対象
  1. 空き家バンクに登録された物件
  2. 家財処分に要した経費が5万円以上
- 補助
 

対象経費の2分の1を補助（上限10万円）



コミュニティFMの整備について

●設備の概要図



## ●スタジオの概要

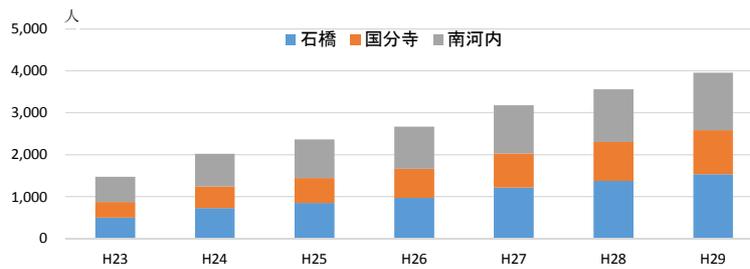


32

## 平成29年度 デマンドバス利用状況等

### 1) 登録者の推移

【エリア別登録者数】



	H23 (11月～)	H24	H25	H26	H27	H28	H29
石橋	500	727	849	971	1,214	1,375	1,535
国分寺	372	517	595	693	816	927	1,050
南河内	596	778	915	1,006	1,144	1,254	1,369
合計	1,468	2,022	2,359	2,670	3,174	3,556	3,954

33

## デマンドバス「おでかけ号」

- ◆ 9人乗りのワゴン車による乗合タクシーです。
- ◆ 電話予約に応じて、ご自宅までお迎えに行きます。(利用登録が必要です)
- ◆ 他の利用者も、途中乗せながら目的地まで運行します。

### 【運行区域】

下野市内を3エリアに区分し運行します。(エリアは石橋・国分寺・南河内)

※ エリアを越えての利用には乗継が必要です。

※ 下野市内の運行です。

※ 庁舎・健康福祉センターゆうゆう館・自治医科大学附属病院へは乗継をせずに直接行くことができます。

### 【運行日】 月曜日から土曜日まで

※ 祝日及び振替休日、年末年始(12/30~1/3)を除く

### 【運行時間(便)】

8時便	13時便
9時便	14時便
10時便	15時便
11時便	16時便
12時便	17時便



【運賃】 中学生以上 300円・小学生 200円  
未就学児無料(保護者同伴条件)

## 「健全な行財政運営」

➤ 私たちの下野市を未来へつなぐ「健全な行財政運営」を推進します。

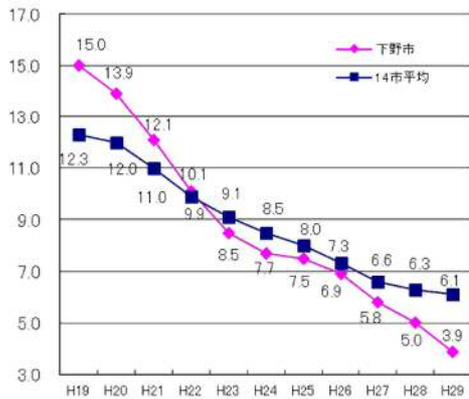


○ 第2次下野市総合計画の着実な推進を図るための行財政改革の推進

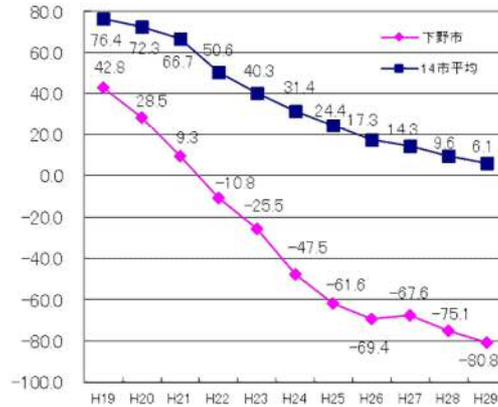
☞ 行財政改革の推進について

# 行財政改革の推進

## 実質公債費比率



## 将来負担比率



# 行財政改革の推進

## 合併後（12年間）の普通建設事業費の推移



## 夢をかたちに更なる発展へのステップアップ！

### 6つの柱による施策展開

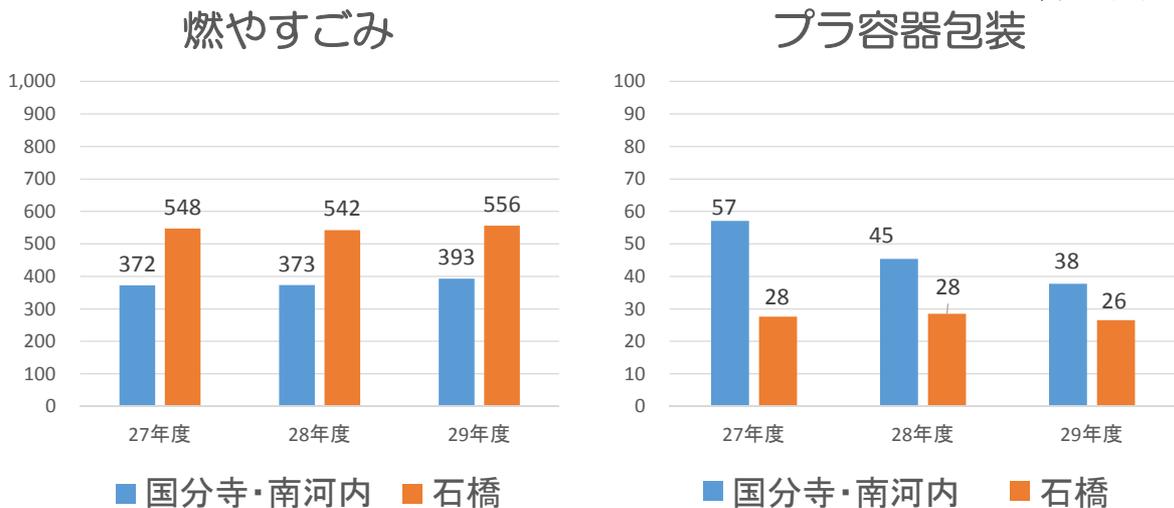


38

## ごみ減量化について

### 1人1日当たりの燃やすごみ及びプラ容器包装の排出量

※ プラ容器包装はリサイクルされています。単位：グラム



39

## ごみの分別について

燃やせるごみの中に雑紙(誌)が混入している



燃やせるごみの中にプラスチック容器包装が混入している



40

## 思川開発事業と県南広域的水道整備事業について 事業の経緯

- 昭和44年 <水機構> 実施計画調査に着手
- 平成 6年 <水機構> 事業実施計画の認可
- 平成19年6月 <栃木県> 県南広域的水道整備協議会を設置
- 平成21年10月 <国> 国土交通省が「できるだけダムにたよらない治水」へ政策転換
- 平成22年9月 <国> 国土交通大臣がダム事業の検証にかかる検討を指示
- 平成22年12月 <関東地整・水機構> 関係地方公共団体からなる検討の場を設置
- 平成25年3月 <栃木県> 関東地整・水機構へ「栃木県南地域における水道水源確保に関する検討報告書」を提出
- 平成27年3月 <栃木県> 栃木県水道ビジョンを作成
- 平成28年4~5月 パブリックコメント
- 平成28年5月 関係住民、学識経験を有する者からの意見聴取
- 平成28年8月 <国> 国土交通省が思川開発事業の継続決定
- 平成29年3月 <国> 事業実施計画の変更認可(工期延長)

41

## 事業の概要①

### 思川開発事業(ダム建設)

- 事業主体 : 独立行政法人水資源機構  
施設 : 南摩ダム(ロックフィルダム)  
場所 : 鹿沼市(南摩川)  
目的 : 洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水の供給  
事業費 : 約1,850億円

※ 数値等は水資源機構より

42

## 事業の概要②

### 県南広域的水道整備事業(取水施設、浄水場、管路)

事業主体 : 栃木県

想定施設等	取水、浄水場 送水自治体 水量	検討中 栃木市、壬生町、下野市 0.403 m <sup>3</sup> /秒
-------	-----------------------	---

想定事業費	施設建設費 維持管理費	検討中 検討中
-------	----------------	------------

考え方 県南地域において、将来にわたり安全な水道水の安定供給を確保するため、地下水から表流水への一部転換を促進し、地下水と表流水のバランスを確保する。

※ 数値等は栃木県より

43

## 現在の考え方

◇栃木県の**地下水と表流水のバランス**を確保する方針に賛同する

◇**安全で安定した水道水**の供給を将来にわたり保障する

◇リスク分散の観点から**多様な水源**を確保する

44

## 1 市政運営の取組状況について

**“住みよさ県内ナンバー1 下野”**  
の実現を目指して



45